

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

江田島市まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

広島県江田島市

3 地域再生計画の区域

広島県江田島市の全域

4 地域再生計画の目標

本市の総人口は、合併後最初の国勢調査実施年である 2005 年の 29,939 人をピークに一貫して減少傾向で推移しており、住民基本台帳によると 2022 年には 21,294 人となっている。国立社会保障・人口問題研究所によると、2045 年には総人口が 10,774 人になると推計されている。

本市が発足した 2004 年 11 月以降の年齢 3 区分別の人口動態をみると、年少人口（0～14 歳）は 2005 年の 2,888 人をピークに、2022 年には 1,599 人、生産年齢人口（15～64 歳）も 2005 年の 17,547 人をピークに、2022 年には 9,956 人と、ともに減少傾向となっている。その一方、老年人口（65 歳以上）は 2005 年の 9,504 人から、2022 年には 9,739 人と増加しており、高齢化率は 45.74%となっている。

自然動態をみると、出生者数は 2004 年の 171 人をピークに、2019 年には 71 人に減少している。その一方で、死亡者数は概ね毎年 400 人～500 人程度で推移しており、2019 年は 451 人と、▲380 人の自然減となっている。

社会動態をみると、2004 年以降、転勤や結婚等を理由とした転出超過が続いている。近年の転出超過は概ね毎年 100～200 人台で推移しているが、2019 年は▲308 人と大幅な社会減となっている。

このように、人口の減少は出生数の減少（自然減）や、転出超過（社会減）等が原因と考えられる。

人口減少や少子高齢化が進むことで、道路河川、上下水道、公園、集会施設、

公共交通等の社会インフラの悪化、地域消費やしごとの場の縮小、地域の子育て・教育施設や医療・介護施設の撤退、自治活動や祭事、相互扶助等のコミュニティ活動の弱体化等、様々な影響が懸念される。

これらの課題に対応するため、来訪経験や知人の存在等、何らかの縁を有する人を増やすこと、様々な形で本市に何らかの縁があり「愛着」を持つ市内外の人との関係性を深めること、市内で暮らし続けることができる「しごと」と「まち」をつくることにより、現在を支える世代の定住を図るとともに、結婚や出産、子育て等、理想を叶える後押しをすることにより、次代を担う子どもの増加を図る。

なお、これらに取り組むに当たっては、次の4つの目指すべき将来の方向を基本目標として設定する。

- ・基本目標1 地域で暮らすためのしごとをつくる。
- ・基本目標2 人の流れをつくり、縁を有する人を増やす。
- ・基本目標3 子どもが生まれ、育つ環境をつくる。
- ・基本目標4 元気に暮らし続けられるまちをつくる。

【数値目標】

5-2の ①に掲げる事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (令和7年度末)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	中小企業・小規模事業経営の専門家による相談件数などのK P I から算定する想定人口効果	—	270.34人	基本目標1
イ	島暮らしを紹介するHPの閲覧数などのK P I から算定する想定人口効果	—	148.12人	基本目標2
ウ	地域と連携した保育の企画実施回数などのK P I から算定する想定人口効果	—	60.68人	基本目標3

エ	健診受診勧奨サポーターの 養成人数などのK P I から 算定する想定人口効果	—	80.50人	基本目標 4
---	---	---	--------	--------

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2 のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

江田島市まち・ひと・しごと創生推進事業

ア 地域で暮らすためのしごとをつくる事業

イ 人の流れをつくり、縁を有する人を増やす事業

ウ 子どもが生まれ、育つ環境をつくる事業

エ 元気に暮らし続けられるまちをつくる事業

② 事業の内容

ア 地域で暮らすためのしごとをつくる事業

次の4つのプロジェクトにより、本市の社会減少の大きな理由である

「しごと」を地域に創出・確保する事業

プロジェクト1 「しごとをつくる・しごとの場を確保する。」

【具体的な事業】

- ・ 中小企業・小規模事業経営の専門家による相談
- ・ オフィスなどの誘致
- ・ 創業者支援
- ・ 新規漁業就業者研修制度の活用
- ・ 新規就農者研修制度の活用

- ・学校給食における直接契約による地産地消の推進
- ・子どもたちが「漁師のしごと」を知る機会の提供
- ・農地活用希望者のマッチング
- ・その他関連施策 等

プロジェクト2 「しごとで稼ぐ。」

【具体的な事業】

- ・果樹の産地形成と維持存続
- ・6次産業化、高付加価値化の取組への支援
- ・漁場基盤の整備
- ・えたじま牡蠣のプロモーション強化
- ・ふるさと納税制度を活用した地場製品の販売促進
- ・市内事業者と都市圏人材の交流促進
- ・その他関連施策 等

プロジェクト3 「お客を呼び込む。」

【具体的な事業】

- ・新たな宿泊観光関連施設の整備
- ・観光戦略チーム「一步」による体験型観光メニューの造成
- ・縁のある民泊生徒へのアプローチ
- ・市外イベントでの江田島市のPR
- ・魅力ある観光情報発信の再構築
- ・簡易宿所営業許可等の認可取得サポート
- ・その他関連施策 等

プロジェクト4 「しごとと人をマッチングする。」

【具体的な事業】

- ・若年層への市内企業の紹介や就職情報の提供
- ・その他関連施策 等

イ 人の流れをつくり、縁を有する人を増やす事業

次の4つのプロジェクトにより、本市に縁のある人を増やすとともに、本市の暮らしを選択してもらえる取組を推進する事業

プロジェクト1 「知ってもらい、興味を持ってもらい。」

【具体的な事業】

- ・島暮らしのイメージづくりとプロモーション
- ・移住希望者目線の島暮らし情報の発信
- ・定住フェアでのPR
- ・その他関連施策 等

プロジェクト2「来てもらおう、滞在してもらおう。」

【具体的な事業】

- ・移住相談への対応
- ・リモートワーカー等の多様な人材の誘引
- ・その他関連施策 等

プロジェクト3「江田島市を好きになってもらおう。」

【具体的な事業】

- ・フードによる移住希望者等との縁づくり
- ・首都圏居住者との関係性の構築・維持
- ・市外居住者へのアプローチ
- ・体験型修学旅行の推進
- ・ふるさとを知る機会の確保
- ・その他関連施策 等

プロジェクト4「暮らしてもらおう。」

【具体的な事業】

- ・空き家バンクの運営・拡充
- ・まちづくり人材の取組促進
- ・まちづくり人材のつながりづくり
- ・移住者の定着サポート
- ・定住促進補助金の運営
- ・次世代型公共交通システムの研究・実施
- ・その他関連施策 等

ウ 子どもが生まれ、育つ環境をつくる事業

次の3つのプロジェクトにより、島の特性を活かしつつ、子育てしやすい環境を整え、子どもの増加を図る事業

プロジェクト1「子どもが郷土で育まれる。」

【具体的な事業】

- ・地域と連携した保育の実施
- ・島の自然などを活用した特色ある保育の展開
- ・祖父・祖母世帯の子育て参画の推進
- ・その他関連施策 等

プロジェクト2「郷土でしっかりと学ぶ。」

【具体的な事業】

- ・総合的な学習の時間等における地域と連携した教育の実施
- ・学校と保護者等のコミュニケーションを図る場づくり
- ・児童生徒の自己肯定感を高める体験活動の充実
- ・個別最適な学びの推進による教育の充実
- ・里海教育の推進
- ・ゲストティーチャー等を活用したキャリア教育の推進
- ・その他関連施策 等

プロジェクト3「子育てしやすい環境をつくる。」

【具体的な事業】

- ・子育て情報の一元的な発信
- ・保護者による子育て仲間（グループ）づくりの促進
- ・妊産婦へのケアの実施
- ・ファミリーサポートセンターの運営
- ・子どもが自由にのびのび遊びたくなる場所（公園・広場）の確保
- ・通学定期補助制度の運営
- ・その他関連施策 等

エ 元気に暮らし続けられるまちをつくる事業

次の3つのプロジェクトにより、健康寿命の延伸に関する取組促進による医療介護を理由とする転出の抑制、その他の人口減少に対する好影響を生み出す事業

プロジェクト1「元気なからだを保つ。」

【具体的な事業】

- ・ 健診受診勧奨サポーターの養成
- ・ A I を活用した健診受診勧奨
- ・ 介護予防に関する意識啓発コンテンツの作成
- ・ がん検診・生活習慣病健診等の推進
- ・ 救急医療・夜間休日診療体制の確保
- ・ 介護予防に関する取組
- ・ その他関連施策 等

プロジェクト2 「出かけていく場をつくる。」

【具体的な事業】

- ・ 高齢者が人と交わることができる場の確保（サロンや子どもとの昔遊びなど）
- ・ 男性限定版の集まる機会の確保
- ・ 地域の小さな単位でのフリーマーケット開催
- ・ 図書館における企画の充実
- ・ 生涯学習活動の推進
- ・ 高齢者の活躍の場の確保（シルバー人材センター）
- ・ その他関連施策 等

プロジェクト3 「みんなで支える体制をつくる。」

【具体的な事業】

- ・ 通いの場運営サポーターの養成
- ・ 高齢者に対するケア・見守り活動
- ・ 住民相互の送迎や乗り合わせによる移動の推進
- ・ その他関連施策 等

※ なお、詳細は第2期江田島市総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（K P I））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

350,000 千円（2022 年度～2025 年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（P D C Aサイクル）

毎年度３月頃に首長を含む庁内組織である本部会議及び外部委員からなる有識者会議による検証を行い、必要に応じて、施策の見直し等を実施する。検証後速やかに本市公式WEBサイト上で公表する。

⑥ 事業実施期間

地域再生計画の認定の日から 2026 年 3 月 31 日まで

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から 2026 年 3 月 31 日まで